

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、V】
2 実施対象者	札幌市立三角山小学校 3年生 48名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	総合的な学習の時間「地域や学校の特色に応じた課題について」 本校の周辺には、美術館や福祉施設、スポーツミュージアムなど、 地域に根差した施設がいくつかある。3年生は、札幌潤々美術館の よさや地域とのつながりについて1年間学んできている。 本授業はその発展として、近隣にあるスポーツミュージアムに行 き、施設のよさや地域とのつながりについて学ぶ内容を考えた。こ れまでの学習と関連させていくことで、学びをさらに深めていけ ると思った。
5 取組内容	○指導計画 【2時間扱い】 ※バス乗車→ウィンタースポーツミュージアム→バス乗車→三角 山小学校 1時間目 ・担任から授業の目的や意義を伝える。 ・リージュ選手：安田さんの講話を聞く。 ・感じたことを交流する。 2時間目 ・館内を見学し、オリンピックの歴史や意義について知る。 ・スキージャンプのリフトに乗り、ジャンプ台や展望台を見学す る。 ・感じたことを交流する。 ・学校に戻り、考えたことや感じたことをカードに書く。書いた 内容を交流し、施設のよさや地域とのつながりについて考え る。

6 主な成果	・安田さんの講話や施設見学から、子どもたちのオリンピックに対する意識が高まった。間近に迫っている平昌オリンピックへの興味関心も高くなった。 ・札幌彫刻美術館とウィンタースポーツミュージアムの2つの施設を利用することで、それぞれのよさを実感することができ、地域とのつながりがより明確になった。 【子どもたちの声】 ○来月オリンピックがあるので、たくさんの競技を見てみたいです。 ○どちらも静かな地域にぴったりの施設だと思う。 ○たくさんのスポーツを体験できて楽しかった。ジャンプ練習をしに、また来たいです。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	・2つの施設を関連させて学習する場合、平行して学習を進めるのか、段階的に学習を進めるのか、実態に合った課題設定を含め検討する必要がある。 ・安田さんの講話があることで、道徳的価値にも触れることができた。「特別の教科 道徳」との関連を図りながら、学習を展開していくとより効果的であると感じた。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。